

分かる快感！

# Z会ナビ

算数 理科 歴史 地理

お題

おきなわ しおかわ  
沖縄の「塩川」  
その名の由来は…？

「Z会ナビ」が

Webサイト

でも読めます！


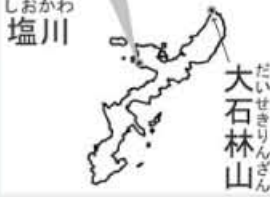


Z会おとナビ新聞

検索

これまでの内容も掲載しています！

写真は、沖縄にある「塩川」です。全長わずか300mの川ですが、塩川には、日本中の他の川にはない特徴があります。何でしょうか？

- わき出す水がしょっぱい
- 川の底が塩の結晶でうめつくされている
- 海から水が逆流して、陸地の中に吸いこまれるようにして消える



イラスト：瑞木匠

以上より、石灰岩の割れ目を通して地下にしみこんだ雨水と、同じく割れ目を通して陸に入りこんだ海水とが混ざり合い、塩川でわき出ししているのではないかと考えられています。

### 生き物だった石灰岩

塩川のすぐ近くには、大規模な石灰岩の採石場がありました。石灰岩は、セメントの原料などに利用されています。ちなみにこの石灰岩、もとをたどれば、今から2億～3億年前に生きていたサンゴやウミユリなどの死がい海底にたまり、固まったものです。場所は少し変わりますが、沖縄本島の北端付近にある大石林山(=写真)には、同時代にできた石灰岩が長い年月をかけて侵食されてできたカルスト地形が広がっています。

【Z会・小澤碧】



## 海水が混ざる

暑さもやわらいだ晩秋に、沖縄の塩川を訪れました。塩川は、塩水がわき出すことから、国の天然記念物に指定されています(問題の答えは①)。わき出した水は、確かにしょっぱい味がしました。その後、海まで歩いて味比べしてみたのですが、海水の方がより塩辛かったです。

塩水がわき出す川というのは非常にめずらしく、世界中探しても、塩川と、プエルトリコの川の、2か所しか知られていません。

### なぜ塩水がわき出すの？

塩川で塩水がわき出す理由は、まだきちんと解明されていないのですが、調査の結果、次のA～Cのことがわかっています。

- A 大雨が降ると、およそ1日おきて、わき水の量が急増する
- B わき水には、カルシウム分が多くふくまれている

C 海が満潮のときはわき水の量が増え、干潮のときは減る

Aから、わき水の一部は雨水を起源としていることがわかります。Bのカルシウム分は、石灰岩から溶け出したものではないかと考えられます。というのも、塩川の近くには、炭酸カルシウムを主成分とする石灰岩の地形が多いからです。Cからは、わき水に海水が混ざっているのではないかと考えられます。

### ！今回の教訓

調査の結果一つ一つをもとに、なぜ塩水がわき出すのか考えていきました。



小澤碧さん 2010年Z会入社。理科の教材編集を担当。理学博士。クラシック音楽と水泳と物理学をこよなく愛する。1982年京都市生まれ。